

令和6年度

(令和5年度事業対象)

教育委員会事務の点検・評価

報告書

北竜町教育委員会

目 次

1.趣 旨	1
2.点検・評価の対象	1
3.点検・評価の実施方法	1

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

1.学校教育の充実	2
2.生涯学習の充実	7
3.青少年の健全育成	9
4.芸術・文化の振興	10
5.スポーツの振興	11

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の開催状況	13
(2) 条例、規則等の制定及び改定の状況	13
(3) 教育委員の活動状況	14
(4) 令和5年度 北竜町教育委員会議案一覧表	20

令和6年度（令和5年度事業対象）生涯学習推進事業・社会教育 ・芸術文化事業・社会体育事業 自己点検・評価一覧表

(1) 生涯学習推進事業	24
(2) 社会教育	25
(3) 文化芸術	28
(4) 図書館	29
(5) 社会体育	30

外部評価（活動評価委員）意見総評（令和5年度事業）	34
---------------------------	----

1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会は、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっています。

北竜町教育委員会は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため毎年度、教育委員会事務の点検・評価を行い、学識経験者の意見を付して報告書を作成・公表することといたしました。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2. 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等の点検のほかに、令和4年度教育行政執行方針に掲げた主要な事業実施状況について点検・評価を実施いたしました。

3. 点検・評価の実施方法

点検・評価報告書については、令和5年度教育行政執行方針に掲げられた主要な事業及び各事業の基本施策に基づく、内容、成果、自己評価・課題等を所管係が作成するとともに、点検・評価の客観性を確保するため、点検評価方法や結果などについて、学識経験を有する者（活動評価委員）からも意見を聴取しています。

評価ランク

- A ～ 充分達成した
- B ～ 概ね達成した
- C ～ やや達成した
- D ～ 達成に向けて努力している
- E ～ 取り組み無し
- ～ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により実施できなかった

社会教育、社会体育事業の自己評価一覧表 評価ランク

- 5 ～ 充分達成した
- 4 ～ 概ね達成した
- 3 ～ やや達成した
- 2 ～ 達成に向けて努力している
- 1 ～ 取り組み無し
- ～ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により実施できなかった

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>1. 学校教育の充実</p> <p>1) 学校教育の充実</p> <p>ア) 確かな学力の育成と特色ある教育の推進</p> <p>イ) 豊かな心の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から中学校までの9年間を一つの学びと捉え、一貫した教育を推進するよう努めた。 ・全国学力・学習状況調査や各学力テストなどの結果を分析し、学校改善プランを作成するなど、基礎学力の定着・向上に努めた。 ・中学校での各定期テスト期間を小学校でも家庭学習に力を入れる期間として、家庭学習を推進した。 ・中学3年生による修学旅行（旅行先：沖縄県）において、ひまわりライスの販売体験や戦争教育を実践し、郷土愛の育成と平和の尊さ等について学習した。 ・「世界のひまわり」学習の実践により、観光客とのコミュニケーションを通じ「ふるさと愛」を育んだ。 ・優秀な生徒には、夏休み期間を利用しての海外留学を推奨し、中学生短期語学留学助成事業を実施した。 ・スポーツアスリートによる「夢の教室」事業を実施し夢や目標を持つということの大切さについて学んだ。 ・定期的ないじめアンケートを実践することにより早期発見、早期対応に努めた。 ・スクールカウンセラー制度を有効に活用し、心の問題に関する相談や指導等に努めた。 ・小中学校の連携による「いじめ根絶集会」を実施し交流を図った。 ・町保健師の協力により、人権教育や福祉教育等の実践を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒並びに教職員の交流を推進し、「いじめ根絶集会」や「世界のひまわり」等の行事も連携し「中1ギャップ」をなくすよう努めていく。 ・学力や学習状況の評価・分析をもとにした授業改善や教育振興会等の研究活動など、教職員の実践指導力を高める取組の充実に努めていく。 ・家庭学習の仕方について保護者・児童への周知を図り、家庭学習強化週間の実施と取組状況を把握する。 ・「修学旅行費助成事業」を活用し保護者の負担軽減を図った。今後も継続して実施していく。 ・播種から草取りなどの管理や看板やのぼりの作成など地域の教材や学習環境を積極的に活用した学習活動を継続して行っていく。 ・中学3年生2名を対象として短期語学留学を実施した。 ・小学5、6年生を対象に、元プロサッカー選手でジュビロ磐田、ベガルタ仙台でプレー、2007年には日本代表に選出された太田吉彰氏を講師とし、新型コロナウイルス感染症の5類移行により対面で実施した。 ・今後も継続して実施していく。 ・健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんや認知症に対する正しい知識と患者に対する正しい認識を 	<p>A</p> <p>A</p>

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

<p>ウ) 健やかな体の育成</p>	<p>小学校 小3・4 「福祉教育講座」 「認知症サポーター養成講座」 中学校 中2 「認知症サポーター養成講座」 中3 「がん教育講座」 「赤ちゃんふれあい教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北竜町いじめ防止対策基本方針に基づき、いじめ対策連絡協議会を年2回開催し、いじめに関する情報交換及び協議を行った。 ・全国体力運動能力テストの結果を分析し、改善ポイントを積極的に体育授業に取り入れると共に、部活動及や少年団活動を通じて体力の向上や運動の習慣化を推進した。 ・小中共にフッ化物洗口を実施し、歯の健康維持に努めた。 ・「早寝、早起き、朝ご飯運動」など望ましい生活習慣の定着を進めた。 ・北空知圏学校給食組合と連携し、地場産食材を取り入れた安心安全な完全給食の実施、並びにアレルギー事故防止に努めた。 <p>給食組合負担額及び給食費助成の状況 北空知圏学校給食組合負担金 10,628千円 小学校児童給食費助成金 2,589千円 中学校生徒給食費助成金 1,672千円</p>	<p>もてるよう今後も継続して実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種情報の共有を図り、学校・教育委員会及び地域との連携を深め、地域全体でいじめの未然防止・早期発見に努めていく。 ・家庭でできるエクササイズや体力向上トレーニングなど幅広く取り組める方法を検討し、健康な体の育成に努める。 ・今後も継続して実施していく。 ・今後も継続して実施していく。 ・給食費の無償化を継続していく。 ・給食センターの協力を得て、食育教育など活用を図っていく。 	<p>B</p>
<p>エ) 社会に開かれた教育課程の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教育として、英語指導助手を配置するとともに、小学校へ英語教員を配置するほか、英語の公設学習塾を開設した。 ・GIGAスクール構想のもと、一人一台端末を有効的に活用した授業体制の構築とオンライン授業の実現に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会に対応できる人材の育成のため、引き続き外国語指導助手を小中学校、学童保育及び保育園へ派遣を行う。 ・小学校の時間講師も、児童が外国語を学ぶために非常に有効であり継続していく。 ・英語の公設学習塾は、英検受験者の増加など、学習習慣定着化の一端を担えている。英語力の向上のため引き続き、塾内容の充実に務めていく。 ・ICT機器やデジタル教材などを有効活用し、一人一人の理解度や習熟度に応じた個別最適な学びの実現を図る。 	<p>A</p>
<p>オ) 関係機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士、各校（教頭、特別支援コーディネーター）、町保健師等からなる専門部員（北竜町特別支援連携協議会専門部会や児童生徒情報共有会議）メンバー等と連携し、適切な就学相談や指導業務に努めた。 ・学習活動のサポートとした学習支援員や特別教育支援員を小学校に配置した。 <p>小学校 学習支援員 1名 特別支援教育支援員 2名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援が必要なケースが発生した場合には、北竜町特別支援連携協議会にてきめ細やかな対応を行っていく。 	<p>A</p>

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

<p>カ) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の個々に応じた適正な学習機会と きめ細やかな教育が実践されるよう、各校 に特別支援学級を設置した。 <p>小学校 3学級（知的・情緒・言語） 中学校 2学級（知的・肢体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援児童生徒就学援助を下記のとおり 推進した。 <p>小学校 7名 637千円 中学校 3名 337千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由によって就学困難と認められる 児童生徒世帯に対し準用保護児童生徒就学 援助を下記のとおり推進した。 <p>小学校 1名 54千円 中学校 3名 378千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他児童生徒への助成事業状況 <p>入学祝金事業 10名 500千円 修学旅行助成事業 小学校 10名 263千円 中学校 10名 1,310千円 各種検定料助成事業 漢字検定 32名 30千円 英語検定 51名 126千円 奨学資金貸付事業 奨学資金 5,190千円 内訳 大学生 13名：短大生等 1名 特別奨学資金 1,850千円 内訳 大学生 6名：短大生等 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も必要に応じて、特別支援 教育支援員等の配置を図り、関係 者や関係機関と十分に連携しな がら、相談・支援体制の充実に努 めていく。 ・特別支援児童生徒の学用品等 及び給食費の負担軽減を継続し て行っていく。 ・準要保護児童生徒の学用品等 及び給食費の負担軽減を継続し て行っていく。 ・今後も継続して実施していく。 ・新型コロナウイルス感染症の 5類移行により、特別奨学資金の 貸付を令和5年度で終了した。 	<p>A</p>
<p>2) 教職員の 資質の向上</p> <p>ア) 教職員 研修や研究活 動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北竜町教育振興会等の取り組みを通じて、 教職員の指導体制の充実を図るとともに、 指導力向上に向けた研修会等を実施した。 また、教科毎等によるサークル研修を積極 的に進め、その活動の成果を紀要にまとめ た。 ・小中両校の外国語（英語）教諭の連携を図 るべく、年2回情報交換会議を実施した。 ・学校における働き方改革を推進するアクシ ョンプランを基に教職員の働く環境の改善 に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに教職員の専門性を高め るため研修会に積極的に参加で きる体制づくりの支援を図る。 また学習指導要領の改訂によ る多様化する教育に対して対応 できるよう継続して支援してい く。 ・小中連携事業の一環として今 後も継続し実施していく。 ・今後も継続して実施していく。 	<p>A</p>
<p>イ) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校管理者と密接に連携し、教職員の服務 規律について指導監督を推進した。 ・教職員のメンタル的不調を未然に防止す るためストレスチェックを実施した。 ・その他教職員への助成事業状況 <p>校長会、教頭会補助金 170千円 教育振興会補助金 488千円 教職員健康診断負担金 489千円 教職員人間ドック負担金 72千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的に実施していく。 ・多様化する教育に対して対応 できるよう継続して支援してい く。 	<p>A</p>

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

<p>3) 学校施設・設備の整備充実</p> <p>ア) 安全な学校の整備</p> <p>イ) 施設の在り方に関する検討</p> <p>ウ) ICT教育の整備</p> <p>4) 開かれた、信頼される学校づくり</p>	<p>教職員ストレスチェック 50千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染対策とした道の支援事業を活用し、校内における消毒作業等に従事していただける人材を配置した。 ・学校保健特別対策事業補助金を活用し、学校の感染症対策や児童生徒の学びの保障をする体制の整備等を促進した。 ・子ども達がより良い環境の中で、充実した教育が受けられるよう安心して学べる環境を整備するため、下記のとおり修理を行った。 ・教職員の働きやすい環境を整備するため、老朽化していた電話機の交換を行った。 <p>学校施設整備の主な改修状況</p> <p>小学校</p> <p>電話交換工事 917千円</p> <p>体育館床塗装修理 550千円</p> <p>地下タンク埋設給油配管修理 429千円</p> <p>体育館暖房機修理 209千円</p> <p>中学校</p> <p>電話交換工事 768千円</p> <p>職員室外ストーブ修理 180千円</p> <p>体育館暖房機修理 467千円</p> <p>学校教材備品等の主な整備状況</p> <p>小学校</p> <p>移動式三面黒板 343千円</p> <p>中学校</p> <p>調理室用冷凍冷蔵庫 187千円</p> <p>ソフトドリルハードルⅡ 136千円</p> <p>防水防塵デジタルカメラ 52千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、益々施設の老朽化が進む各校において、将来に向け施設整備方針とした公共施設再配置計画を策定した。 ・GIGAスクール構想のもと、一人一台端末を有効的に活用した授業体制の構築とオンライン授業の実現に努めた。（再掲） ・小中学校にデジタル教材を導入し、よりICTを友好的に活用できる授業体制の整備に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の換気や消毒作業等を補助することにより教員の業務負担の軽減を図る。 ・感染症対策を実施するために必要な保健衛生用品の購入や網戸の設置など、児童生徒の安全安心な学習環境を確保しつつ教育活動の継続に努めた。 ・町の総合計画に沿って、年次的に改修工事など進めていく。 また、急な故障等は児童生徒への安全性を都度判断し、必要な対処を実施していく。 ・学校と連携し教材教具等の整備を図っていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度より2カ年かけ、「北竜町学校教育基本・学校複合施設基本計画」を策定する。 ・今後も効果的な活用事例を研究し、児童生徒の学習意欲を高めることができるよう努める。 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
---	--	--	----------------------------

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

<p>ア) コミュニティ・スクールの導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域との交流や、学校経営に関する評価を行い、地域に信頼された学校づくりを目指し、コミュニティ・スクール事業を推進した。 ・学校開放事業を実践し、少年団活動や地域住民に施設開放を行った。 ・地域住民との交流体験事業として「そば打ち体験」を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して実施していく。 ・小学5年生、中学1年生を対象に保護者や担任教諭を交え実施した。 	<p style="text-align: center;">A</p>
<p>5) 総合的な子どもの安全対策の推進</p>			
<p>ア) 見守り活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策として、地域ボランティア活動とした「見守りサポーター」事業を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して実施していく。 	<p style="text-align: center;">A</p>
<p>イ) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運行業務が安全且つ円滑に進められるよう業務委託先を連携し実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転と事故防止に努め、全町的な視点に立った児童生徒の通学対策に努める。 今後も利用対象児童生徒数や運行経路に合わせ、バスの車種や経路等を見直し効率的な運行が必要である。 	<p style="text-align: center;">B</p>

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>2.生涯学習の充実</p> <p>1) 社会教育施設の整備充実・有効活用</p>	<p>・今後施設の建て替えを控えているが、老朽化により修繕が必要な箇所が出てくるため、施設の維持に必要な修繕等を行った。</p> <p>社会教育施設整備の主な改修状況</p> <p>①公民館</p> <p>講堂蛍光灯安定器修繕 26千円</p> <p>床下ピット内ポンプ修繕 103千円</p> <p>②改善センター</p> <p>給湯一次ポンプ修繕 172千円</p> <p>トイレ手洗い排水管修繕 21千円</p> <p>Wi-Fi機器修繕 145千円</p> <p>消火栓ポンプ呼水槽修繕 72千円</p> <p>自動化祭放置設備修繕 43千円</p> <p>芝刈り機修繕 66千円</p> <p>Wi-Fi導入設置工事 1,155千円</p> <p>③生きがいセンター</p> <p>体育館床塗装修繕 660千円</p> <p>給湯器入替修繕 168千円</p> <p>パネルヒーター電源修繕 60千円</p> <p>④美葉牛研修センター</p> <p>誘導灯修繕 36千円</p> <p>⑤図書館・郷土資料館</p> <p>蛍光灯安定器修繕 26千円</p> <p>社会教育施設備品等の整備状況</p> <p>①公民館</p> <p>なし</p> <p>②改善センター</p> <p>卓球台 218千円</p> <p>9人制バレーボールネット 32千円</p> <p>乗用芝刈り機 739千円</p> <p>③生きがいセンター</p> <p>なし</p> <p>④美葉牛研修センター</p> <p>なし</p> <p>⑤図書館・郷土資料館</p> <p>図書館用図書 500千円</p>	<p>・数年後の施設複合化に向けて、必要な修繕や工事、備品の見極めを行いながら今後も利用者が安全・快適に利用できるよう施設の整備を行っていく。</p>	<p>A</p>
<p>2) 生涯学習指導者の確保</p>	<p>・多様化する住民ニーズに対応できる様、各分野における指導者やリーダーの確保等に向けて、情報収集等を行った。</p>	<p>・学校授業やコミュニティ・スクール事業等でも活用できる人材バンクの再構築に努める。</p>	<p>B</p>

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
3) 生涯学習情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報ほくりゅう」や町HPを活用し、毎月の生涯学習情報等を発信した。特にホームページや防災無線を使った事業の周知に力を入れ、町民に広く情報を提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き各機関と連携を取り、生涯学習の情報を発信していく。 	A
4) 生涯の各期に応じた社会教育事業の推進			
ア) 子育て等、家庭教育支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加できる体験事業を開催し、事業を通じて親子間の交流を深めることができた。 ・学校及び町PTA連合会等と協力し、保護者向けの家庭教育講座を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化しないよう、ニーズを把握し、家庭教育の支援に役立つような事業を展開していく。 	A
イ) 家庭・学校・地域連携による青少年教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者が子どもとふれあう機会を提供し、昔の遊びや生活文化の伝承体験に取り組んだ。 ・町子ども会との連携事業として「リーダーキャンプ」を開催した。 ・北空知圏教育委員会の共同事業による「北空知シニアリーダー研修会」（リーダー養成研修）を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者のふれあい事業は人気事業でもあることから引き続き昔遊びや生活文化の伝承体験を行う機会を作っていく。 ・子どもの数も減り、隣の子ども会と合同で活動を行うところもでてきている。引き続き継続して活動を行えるよう支援していく。 ・シニアリーダー研修会については、中学生が他の市町に比べ継続的に参加ができているため、引き続き学校と連携し、事業への理解を深め、中学生が参加しやすいような体制作りをしていく。 	A
ウ) 各社会教育団体への支援並びに多様な学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・町文化連盟と連携し、各サークルや団体等への加入促進及び新規サークル団体の育成支援に努めた。 ・第7次北竜町社会教育中期計画を策定し、総合計画との整合性を図るとともに、町民のニーズの調査を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各サークルや団体が活動できるよう支援を行っていく。 ・第7次社会教育中期計画の内容を、今後の社会教育事業に活かしていく。 	A
エ) 高齢社会における生活課題等に対応した学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学（ひまわり大学）や生きがいセミナー（カラオケ教室）を開催し、ニーズに対応した講座の開催に努めた。 ・町住民課と連携し、高齢者向け講座等の準備及び施設の提供に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学については人口が減っている中、多くの人々が参加してくれているので、引き続きニーズに合う講師選定を行う。 ・生きがいセミナーについては、課題となっていた講師選びが解決したため、引き続き実施できるようにしていく。 	A

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
5) 読書活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次北竜町子どもの読書活動推進計画を策定した。 ・子どもの読書活動を促進していくと共に、保護者に向け幼少期からの本の重要性に関する講座（読み聞かせ教室）を行った。 ・乳幼児を対象とした「ブックスタート事業」を町保健師と連携し推進した。 ・小中学校と連携し移動図書事業を推進し、子ども達が本に触れる機会の拡大に努めた。 ・利用者のニーズに対応するため、新刊等のリクエスト調査を実施した。 ・図書館ボランティアを配置し、図書館の運営を協力してもらうことができた。 ・道立図書館並びに近隣4町の図書館と連携した本の貸出利用を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次読書活動推進計画の内容を次年度から活かしていく。 ・例年実施している図書館や本に興味を持ってもらうきっかけとなる工作教室は開催できなかった。次年度は開催できるように準備をしていく。 ・引き続き住民課と連携し、ブックスタート事業を実施していく。 ・移動図書についても引き続き子ども達が本に触れる貴重な機会なので、多くのジャンルの本に触れるよう選書していく。 ・本の購入については引き続き町民のニーズに合ったものを選定し購入していく。 ・図書館ボランティアについては、次年度も引き続き行って貰えるよう、ボランティアの方と連携をしっかりと取っていく。 ・本の貸出利用の推進についても、引き続き行っていく。 	B
3. 青少年の健全育成			
1) 青少年健全育成体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭（保護者）、地域、学校、町教委が一体となり、青少年の健全育成活動の推進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々変化していく青少年を取り巻く問題について、各機関と連携し、情報収集に努める。 	B
2) 非行防止活動等の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回開催するいじめ対策連絡協議会の際に、深川警察署（生活安全課長）より、直近の道内及び深川警察署管轄内における青少年犯罪及び犯罪に巻き込まれるといった事案についての情報提供をいただき、全参加関係者（各機関）と共に確認する機会を設定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き非行防止についても各機関と連携を取り、会議での情報共有等から広く関係者に情報を周知できるよう努める。 	A
3) 家庭・地域の教育力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各校と連携し、家庭教育や子育て支援等に関する情報等を発信するよう努めた。 ・地域で子どもを育てる機運を醸成するため、本町における教育的資源や人材等の活用を学校の授業で活用を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CSの活動の一環で、地域の人材が学校の授業で活躍するなどの機会を引き続き創出していく。 	A

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>4) 青少年の体験・交流活動等の促進</p>	<p>・通年において、青少年の様々な体験交流活動、更には文化やスポーツ活動等の機会を設け、青少年活動の充実と活性化を促しました。</p> <p>社会教育事業 子どもと高齢者のふれあい事業 年8回 子ども会事業「リーダーキャンプ」 「わんぱく夏祭り」参加 北空知シニアリーダー・ステップアップ研修会 親子体験教室 年2回 北竜未来ユース 親子映画鑑賞会 児童・生徒芸術鑑賞の旅 文化公演会 読み聞かせ教室</p> <p>社会体育事業 キッズエアロビクス 陸上教室 夢の教室 キッズアクア 水辺の安全教室 初心者・中級者水泳教室 教育長旗少年野球大会 水中レクリエーション大会 海洋レクリエーション体験 親子パークゴルフ教室（体験の風事業含） 小学生バレーボール大会 初心者スキー教室</p>	<p>・子どもの数が減少傾向にある中、文化・スポーツ活動の体験を通して豊かな心を育めるよう今後もニーズに合った事業を展開していく。</p> <p>・各少年団とも連携し、多くの子ども達に文化やスポーツの体験を行ってもらえるよう引き続き連携を取っていく。</p>	<p>A</p>
<p>4. 芸術・文化の振興</p>			
<p>1) 文化芸術団体、指導者の育成</p>	<p>・町文化連盟と連携し、各サークルや団体等への加入促進及び新規サークル団体の育成支援に努めた。</p> <p>・町民主体の文化芸術活動の活性化を目指し広報等で文化祭の出演者を募集した。</p>	<p>・団体の活動を継続するためにも新規の加入者確保が課題なので各機関と連携し、情報の発信や活動支援を行っていく。</p>	<p>B</p>
<p>2) 文化芸術にふれる機会の充実</p>	<p>・町民文化祭や各サークル、団体等における活動の成果が発表できる機会の充実に努めた。</p> <p>・子ども映画鑑賞会や芸術の旅を実施し、多様な芸術作品等にふれる機会に努めた。</p>	<p>・劇団四季のような公演に参加できるのがベストだが、毎年違う内容で文化・芸術に触れる機会を設けられるように、情報収集等を行っていく。</p>	<p>A</p>
<p>3) 文化財の保存・活用</p>	<p>・町指定無形文化財である真竜獅子舞（保存会）への支援を継続して進めると共に、郷土資料の適正な管理運用に努めた。</p>	<p>・引き続き団体の支援を行っていく。</p>	<p>B</p>

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会体育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>5. スポーツの振興</p> <p>1) スポーツ施設の整備充実</p> <p>2) スポーツ団体、指導者の育成</p>	<p>・町民が安心して利用ができるよう、利用ニーズや老朽化状況を把握すると共に、各スポーツ施設個別施設計画を基とした管理運営を進め、指定管理者と連携し、一層の利用促進に努めた。</p> <p>スポーツ施設整備の主な改修状況</p> <p>① スキー場 スキー場圧雪車点検修繕 1,041 千円</p> <p>② 野球場 トイレタンク修繕 75 千円 電灯回路契約料変更のための主開閉器取替修繕 161 千円</p> <p>③ パークゴルフ場 階段手摺等設置修繕 452 千円 コース名支柱塗装修繕 25 千円 スタート台設置工事 967 千円</p> <p>④ B & G 海洋センター なし</p> <p>スポーツ施設備品等の整備状況</p> <p>① スキー場 なし ② 野球場 なし ③ パークゴルフ場 A E D 一式 292 千円 ④ B & G 海洋センター なし</p> <p>スポーツ施設の指定管理状況</p> <p>① スキー場 3,865 千円 ② 野球場 5,299 千円 ③ パークゴルフ場 15,380 千円 ④ B & G 海洋センター 5,370 千円</p> <p>・町体育協会加盟団体や各スポーツ少年団等への組織支援は基より、各団体指導者に対するスキルアップ研修会等への情報提供並びに支援に努めた。</p> <p>指導者資格に対する支援状況</p> <p>バレーボール少年団 指導員資格更新手数料 10 千円 日本スポーツ協会公認 指導者登録料 14 千円 コーチ I 受講料 42 千円</p>	<p>・スポーツ施設の運営については指定管理業務を委託しており、指定管理先と協議しながら今後も利用者が安全で快適に使用できる施設整備を行っていく。</p> <p>・老朽化している施設や物品については更新や改修時期を財政部局と連携を取り、計画的に進めていく。</p> <p>・野球場のグラウンドマスターは、古く取り替える部品も無いため、壊れて使えなくなる前に更新が必要。</p> <p>・パークゴルフ場の芝刈り機も上記同様、更新が必要になってくる可能性が高い（指定管理からの要望有）</p> <p>・プールの水槽についても、漏水が見られ、B&Gの助成金も視野に入れつつ改修の計画を立てる必要がある。</p> <p>・少年団指導者の必要な資格については、毎年予算編成時期に調査し、連携を取りながら資格取得に向けての支援を行っていく。</p>	<p>A</p> <p>A</p>

令和6年度（令和5年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会体育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価								
<p>3) 多様なスポーツ活動の普及促進</p>	<p>スポーツ振興団体への支援状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">体育協会補助金</td> <td style="text-align: right;">400 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">スポーツ少年団本部補助金</td> <td style="text-align: right;">130 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">少年野球教室開催助成</td> <td style="text-align: right;">30 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">少年団交流事業費助成</td> <td style="text-align: right;">100 千円</td> </tr> </table> <p>・各スポーツ事業（大会等）に関する情報は町広報誌を活用して発信し、町民のスポーツ、健康づくりに対する意識の高揚に努めると共に、参画を促すよう進めた。</p> <p>・誰もが気軽に参加できる軽スポーツやレクリエーション活動の普及に向けたスポーツプログラムを企画実践した。 （フロアカーリング大会を実施）</p> <p>※その他、各種事業詳細等は社会体育実施内容を参照</p>	体育協会補助金	400 千円	スポーツ少年団本部補助金	130 千円	少年野球教室開催助成	30 千円	少年団交流事業費助成	100 千円	<p>・スポーツ振興団体への支援についても、引き続き各団体と連携を取り適切な支援を行っていく。</p> <p>・引き続きどの年代も気軽に参加できる軽スポーツ事業の企画や周知を図る。</p> <p>・町民のニーズを調査し、時代に合ったものを提供できるよう、情報集等を引き続き行う。</p> <p>・ニュースポーツの情報を定期的に集め、年1回の開催ではなく、要望があれば複数回開催できるように検討していく。</p>	<p>A</p>
体育協会補助金	400 千円										
スポーツ少年団本部補助金	130 千円										
少年野球教室開催助成	30 千円										
少年団交流事業費助成	100 千円										

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の開催状況及び審議件数

北竜町教育委員会の会議は、年10回の定例会及び特に必要と認められた場合に臨時会を開催しており、本年度は臨時会1回の開催でした。

(開催期間 令和5年4月～令和6年3月)

会 議	年 月 日	報告件数	承認	議案件数	選挙
第 4 回 定 例 会	令 和 5 年 4 月 2 8 日	1	1	4	
第 5 回 定 例 会	令 和 5 年 6 月 1 6 日	1	1	5	
第 6 回 定 例 会	令 和 5 年 7 月 2 6 日	2	1	1	
第 7 回 定 例 会	令 和 5 年 8 月 2 5 日	2	1	5	
第 1 回 臨 時 会	令 和 5 年 1 0 月 2 日	2			
第 8 回 定 例 会	令 和 5 年 1 0 月 2 7 日	1	2	1	
第 9 回 定 例 会	令 和 5 年 1 1 月 2 4 日	1	1	2	
第 1 0 回 定 例 会	令 和 5 年 1 2 月 1 8 日	2	1	2	
第 1 回 定 例 会	令 和 6 年 1 月 2 6 日	4	1	2	
第 2 回 定 例 会	令 和 6 年 2 月 2 6 日	1	3	2	
第 3 回 定 例 会	令 和 6 年 3 月 2 6 日	1	1	5	
合 計		18	13	29	

(2) 条例、規則等の制定・改定状況

令和5年度条例、規則等の制定及び一部改正、廃止については、条例改正1件、規則改正1件、要綱制定1件、要綱改正2件の計5件となっております。

- ・北竜町特別奨学資金貸付基金条例の一部改正 (令和5年4月1日施行)
- ・北竜町特別奨学資金貸付基金条例施行規則の一部改正 (令和5年4月1日施行)
- ・北竜町通学路安全推進会議設置要綱の一部改正 (令和5年4月1日施行)
- ・北竜町学校教育基本方針及び学校等複合施設基本計画検討委員会設置要綱の制定について (令和6年1月1日施行)
- ・北竜町学校給食費助成事業実施要綱の一部改正 (令和6年4月1日施行)

(3) 教育委員の活動状況（抜粋）

教育委員会は、定例会や臨時会のほか町内小・中学校の入・卒業式への出席など、各種教育団体の行事への参加や学校訪問などを行っております。

月 日	活 動 内 容	会 場
4 月 2 日	令和5年度永年勤続者表彰及び辞令交付式	議 場
4 月 2 日	令和5年度教育委員会辞令交付式	公 民 館 講 堂
4 月 2 日	令和5年度北竜町立学校職員辞令交付式	公 民 館 講 堂
4 月 6 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
4 月 6 日	令和5年度北竜町パークゴルフ協会総会	公 民 館 講 堂
4 月 11 日	空知管内教育委員会協議会総会	岩 見 沢 市
4 月 11 日	第1回空知管内教育長会議	岩 見 沢 市
4 月 11 日	第1回第5採択地区教科書選択教育委員会	岩 見 沢 市
4 月 13 日	令和5年度北竜町文化連盟総会	公 民 館 講 堂
4 月 20 日	北空知地区教育支援協議会総会	深 川 市
4 月 20 日	北空知教育委員会教育長会議	深 川 市
4 月 24 日	第1回校長・教頭合同会議	公 民 館 講 堂
4 月 27 日	第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会（Web会議）	教 育 長 室
4 月 27 日	第1回北竜町スポーツ推進委員会議	公 民 館 講 堂
4 月 27 日	第1回北竜町社会教育委員会議	公 民 館 講 堂
4 月 28 日	第4回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
4 月 28 日	教育関係者懇談会	サンフラワーハーク 北 竜 温 泉
5 月 2 日	空知教育局義務教育指導監訪問	教 育 長 室
5 月 9 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
5 月 13 日	春のフットパス	町内特設コース
5 月 17 日	北竜町開拓記念式並びに表彰条例に基づく功労者表彰式	開 拓 記 念 碑 前 福 祉 セ ン タ ー
5 月 17 日	第3回北竜町議会臨時会	本 会 議 場
5 月 18 日	令和5年度 ひまわり大学「入学式」	公 民 館 大 ホ ー ル
5 月 18 日	北竜町学校教育振興会総会	小 学 校 体 育 館
5 月 18 日	北海道町村教育委員会連合会総会	札 幌 市
5 月 23 日	令和4年度北海道B & G海洋センター連絡協議会総会	砂 川 市
5 月 24 日	株式会社北竜振興公社監査	サンフラワーハーク 北 竜 温 泉
5 月 24 日	株式会社北竜振興公社取締役会	サンフラワーハーク 北 竜 温 泉
5 月 27 日	子どもと高齢者のふれあい事業「開講式・農園種まき」	公 民 館 他 大 ホ ー ル
5 月 28 日	町長杯パークゴルフ大会	ひ ま わ り パ ー ク ゴ ル フ 場
5 月 29 日	北竜町スポーツ少年団本部総会	公 民 館 講 堂
6 月 5 日	令和5年度北竜町議会一部事務組合等行政視察	深 川 市 外

月 日	活 動 内 容	会 場
6 月 6 日	令和5年度北竜町議会庁内行政視察	町 内
6 月 7 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
6 月 15 日	戦没者慰霊祭	和 忠 魂 碑
6 月 15 日	北空知教育長会	深 川 市
6 月 16 日	日産自動車連携協定締結式	すこやかセンター 集 団 検 診 指 導 室
6 月 16 日	第5回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
6 月 18 日	教育長杯パークゴルフ大会	ひまわり パ ー ク ゴ ル フ 場
6 月 19 日	人権擁護委員活動報告訪問	町 長 室
6 月 22 日	第2回北竜町議会定例会	議 場
6 月 22 日	議会懇談会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
6 月 26 日	北空知圏学校給食組合教育委員会臨時会	深 川 市
6 月 27 日	沼田地区防犯協会連合会総会	沼 田 町
6 月 27 日	町内会長会議	すこやかセンター 集 団 検 診 指 導 室
6 月 28 日	令和5年度中学校体育連盟北空知大会観戦(バレー部・野球部・卓球部) ～29日	
6 月 29 日	北竜消防演習	役 場 庁 舎 北 側 駐 車 場
6 月 29 日	北竜消防団創立110年記念式典・祝賀会	公 民 館 他 大 ホ ー ル
7 月 7 日	令和5年度中学校体育連盟空知大会観戦(バレー部・卓球部)～8日	岩 見 沢 市 砂 川 市
7 月 10 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
7 月 10 日	教育委員会委員研修	沼 田 町
7 月 11 日	第2回空知管内教育長会議 (Zoom)	教 育 長 室
7 月 13 日	六陵連合会訪問	教 育 長 室
7 月 14 日	交通安全町民集会	公 民 館 他 大 ホ ー ル
7 月 14 日	株式会社北竜振興公社監査	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
7 月 15 日	北竜消防団前団長加藤宰氏叙勲受賞祝賀会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
7 月 19 日	第2回校長・教頭合同会議	公 民 館 他 第 1 研 修 室
7 月 20 日	北海道市町村教育委員会研修会兼道内視察研修 ～21日	札 幌 市
7 月 22 日	高校総体開会式	札 幌 市
7 月 24 日	第5採択地区教科書採択第1回小部会	深 川 市
7 月 26 日	いじめ問題対策連絡協議会	公 民 館 講 堂
7 月 26 日	第6回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
7 月 27 日	第5採択地区教科書採択第2回小部会	深 川 市
7 月 29 日	第33回教育長旗争奪北空知少年野球大会	町 営 野 球 場
8 月 1 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
8 月 2 日	空知校長会教育懇談会	岩 見 沢 市
8 月 4 日	地域貢献感謝状贈呈 (ソリトン・コム株)	応 接 室

月 日	活 動 内 容	会 場
8 月 8 日	短期語学留学中学生挨拶来庁	応 接 室
8 月 9 日	空知科学会来庁	教 育 長 室
8 月 12 日	THE太鼓まつりIN北竜2023	ひまわりの里
8 月 18 日	戦没者追悼式	公民館大ホール
8 月 21 日	北教組「全道キャラバン」訪問	町 長 室
8 月 25 日	教育施設調査	公 民 館 他
8 月 25 日	第7回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
8 月 28 日	監査委員決算審査理事者報告	町 長 室
8 月 28 日	短期語学留学中学生帰国挨拶来庁	応 接 室
8 月 29 日	株式会社北竜振興公社監査	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
9 月 2 日	北竜中学校学校祭	北 竜 中 学 校
9 月 6 日	第1回文化祭実行委員会	公 民 館 講 堂
9 月 8 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
9 月 11 日	敬老会	老人福祉センター
9 月 11 日	ドラゴンキッズ全道大会出場報告	応 接 室
9 月 12 日	文化公演会	改 善 セ ン タ ー 体 育 館
9 月 13 日	第3回議会定例会（～9/15）	議 場
9 月 15 日	決算審査特別委員会理事者報告	町 長 室
9 月 15 日	議会懇談会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
9 月 21 日	第2回文化祭実行委員会	公 民 館 講 堂
9 月 23 日	秋のフットパス	町内特設コース
9 月 26 日	令和6年度予算編成に係る理事者協議	町 長 室
10 月 1 日	レッツゴーパークゴルフ大会（親子パークゴルフ教室）	ひ ま わ り パ ー ク ゴ ル フ 場
10 月 2 日	第1回教育委員会臨時会	公 民 館 講 堂
10 月 2 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
10 月 10 日	小中学校教職員人事推進会議	岩 見 沢 市
10 月 10 日	女性教職員活躍推進会議	岩 見 沢 市
10 月 12 日	ひまわりオリンピック大会	改 善 セ ン タ ー 体 育 館
10 月 17 日	中学校野球部訪問「全道大会優勝・全国大会出場報告」	応 接 室
10 月 19 日	第1回教育委員会活動評価委員会議	公 民 館 講 堂
10 月 20 日	町村教育委員会連合会教育長部会研修会	札 幌 市
10 月 21 日	真竜小学校学習発表会	真 竜 小 学 校
10 月 23 日	教職員教育長面談（北中）	北 竜 中 学 校
10 月 24 日	「学校教育方針・複合施設計画」理事者協議	応 接 室
10 月 25 日	教職員教育長面談（真小）	真 竜 小 学 校

月 日	活 動 内 容	会 場
10月26日	第2回教育委員会活動評価委員会議	公 民 館 講 堂
10月27日	第8回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
10月31日	中学生短期語学留学報告会	公 民 館 大 ホール
11月1日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
11月2日	第2回北空知教育長会議	深 川 市
11月2日	北竜町町民文化祭 ～3日	公 民 館 外
11月5日	さっぽろ北竜祭	札 幌 市
11月6日	北竜町パークゴルフ協会納会	向 日 葵
11月9日	教職員人事1次協議（校長・教頭）	岩 見 沢 市
11月9日	教職員人事1次協議（一般教諭）	岩 見 沢 市
11月10日	北竜町行政懇談会（生きがいセンター）	生きがいセンター
11月10日	北竜町行政懇談会（公民館）	公 民 館 講 堂
11月13日	北空知教育委員会次課長会議	公 民 館 講 堂
11月14日	夢の教室	公 民 館 大 ホール
11月14日	教育振興会研究集会	北 竜 中 学 校
11月17日	北空知圏学校給食組合教育長会議	深 川 市
11月17日	北空知圏学校給食組合教育委員会	深 川 市
11月18日	PTA連合会研究大会・家庭教育学級・北空知管内市町教育委員会研修会	公 民 館 大 ホール
11月24日	学校教育方針・複合施設計画教育委員協議	公 民 館 講 堂
11月24日	第9回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
11月27日	第4回北竜町議会臨時会	本 会 議 場
11月27日	議会全員協議会	委 員 会 室
11月30日	女性連絡協議会年末総会	公 民 館 講 堂
12月1日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
12月2日	ひまわりコーラス定期演奏会	公 民 館 大 ホール
12月4日	空知管内市町教育委員会教育長会議	岩 見 沢 市
12月5日	いじめ根絶集会	北 竜 中 学 校
12月6日	教育局義務教育指導監訪問	教 育 長 室
12月12日	中学生議会	本 会 議 場
12月12日	第4回北竜町議会定例会	本 会 議 場
12月12日	議会懇談会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
12月13日	株式会社北竜振興公社取締役会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
12月14日	町内会長会議	すこやかセンター 集 団 検 診 指 導 室
12月14日	町内会長会議懇親会	八 八
12月15日	校長・教頭合同会議	公 民 館 講 堂

月 日	活 動 内 容	会 場
12月18日	いじめ問題対策連絡協議会	生きがいセンター
12月18日	第10回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
12月18日	教育関係者合同懇談会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
12月21日	学校における働き方改革推進会議 (Zoom)	教 育 長 室
12月22日	「北竜町のこれからの学校づくりを考えるシンポジウム」	公 民 館 大 ホール
12月25日	北空知5町野球部連合チーム全国大会出場挨拶	応 接 室
12月27日	北空知圏学校給食組合教育委員会	深 川 市
12月28日	株式会社北竜振興公社監査	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
12月29日	御用納め	役 場 庁 舎
1月6日	令和6年 20歳を祝う会	公 民 館 大 ホール
1月9日	御用始め	本 会 議 場
1月9日	北竜消防団出初式	改 善 センター外
1月10日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
1月10日	北竜町社会福祉協議会新年のつどい	法人福祉センター
1月12日	町内会長会議	すこやかセンター 集 団 検 診 指 導 室
1月12日	町内会長・営農組合長合同新年会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
1月18日	大谷翔平グローブ寄贈	真 竜 小 学 校
1月19日	第1回北竜町議会臨時会	本 会 議 場
1月19日	議会懇談会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
1月23日	第16回「B&G全国サミット」 (~24日)	東 京 都
1月25日	校長・教頭人事協議	
1月26日	北竜町議会総務産業常任委員会	委 員 会 室
1月26日	第1回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
2月1日	一般教員人事協議 (2次) (Zoom開催)	教 育 長 室
2月1日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
2月6日	空知ゆかりの道職員と市長及び町長との交流会	札 幌 市
2月8日	教員人事2次協議内容確認	
2月9日	全町ミニバレーボール大会 (~18日)	改 善 センター 体 育 館
2月11日	第58回町民スキー大会	町 営 スキー場
2月14日	北空知給食組合教育長会議	深 川 市
2月15日	北竜町女性連絡協議会年始総会	公 民 館 講 堂
2月17日	子どもと高齢者のふれあい事業「閉講式」	公 民 館 講 堂
2月19日	第1回 学校教育基本方針及び複合施設基本計画検討委員会	公 民 館 講 堂
2月22日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
2月26日	北空知給食組合教育委員会	深 川 市

月 日	活 動 内 容	会 場
2月26日	第2回教育委員会定例会	公民館講堂
3月1日	北竜町交通安全協会定期総会	公民館大ホール
3月7日	ひまわり大学卒業式	公民館大ホール
3月11日	第1回北竜町議会定例会（～15日）	本 会 議 場
3月12日	北竜中学校卒業式	北 竜 中 学 校
3月15日	予算特別委員会理事者報告	町 長 室
3月15日	議会終了後の議員と管理職員との懇談会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
3月18日	株式会社北竜振興公社取締役会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
3月19日	真竜小学校卒業式	真 竜 小 学 校
3月21日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
3月21日	学校運営協議会	公 民 館 講 堂
3月22日	第6回校長教頭合同会議	公 民 館 講 堂
3月25日	臨時市町村教育長及び教育局長会議（Zoom）	教 育 長 室
3月26日	北竜町総合教育会議	公 民 館 講 堂
3月26日	第3回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
3月26日	教育関係者懇談会「校長・教頭送別会」	八 八
3月28日	教育長杯室内PG大会	改 善 セ ン タ ー 体 育 館
3月29日	三役会議	町 長 室
3月29日	教育委員会職員辞令交付式	教 育 長 室

(4) 令和5年度 北竜町教育委員会議案一覧表

会議名	開催日	開催時間	議案番号	議 件 名
定例第4回	令和5年4月28日	16時30分	承認第5号	令和5年第3回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第6号	教育行政報告について
			議案第11号	北竜町社会教育委員（兼公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、文化財保護委員）の委嘱について
			議案第12号	北竜町学校運営協議会（CS）委員の任命について
			議案第13号	第7次北竜町社会教育中期計画の諮問について
			議案第14号	令和5年度奨学生の選定について
			その他	各種行事の日程調整について
定例第5回	令和5年6月16日	16時30分	承認第6号	令和5年第4回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第7号	教育行政報告について
			議案第15号	北竜町特別奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例について
			議案第16号	北竜町特別奨学資金貸付基金条例施行規則の一部を改正する規則について
			議案第17号	令和5年度教育費補正予算（第2号）について
			議案第18号	令和5年度北竜町立学校における学校閉庁日について
			議案第19号	北竜町いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について
その他	各種行事の日程調整について			
定例第6回	令和5年7月26日	16時00分	承認第7号	令和5年第5回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第8号	教育行政報告について
			報告第9号	中学校体育連盟体育大会の成績報告について
			議案第20号	北竜町社会教育委員（兼公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、文化財保護委員）の委嘱について
			その他	各種行事の日程調整について
定例第7回	令和5年8月25日	16時00分	承認第8号	令和5年第6回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第10号	教育行政報告について
			報告第11号	奨学資金及び特別奨学資金の貸付停止及び償還猶予並びに貸付休止について
			議案第21号	令和6年度に使用する小学校用教科用図書の採択について
			議案第22号	令和6年度に使用する中学校用教科用図書の採択について
			議案第23号	令和6年度に使用する学校教育法附則第9条に規定する小中学校用教科用図書（特別支援）の採択について
			議案第24号	第3次北竜町子どもの読書活動推進計画の諮問について
			議案第25号	令和5年度教育費補正予算（第3号）について
			その他	各種行事の日程調整について
臨時第1回	令和5年10月2日	9時00分	報告第12号	教育行政報告について
			報告第13号	教育長職務代理者の指名について
			その他	各種行事の日程調整について

会 議 名	開 催 日	開催時間	議 案 番 号	議 件 名
定例第8回	令和5年10月27日	16時00分	承認第9号	令和5年第7回教育委員会定例会議事録の承認について
			承認第10号	令和5年第1回教育委員会臨時会議事録の承認について
			報告第12号	教育行政報告について
			議案第26号	北竜町通学路安全推進会議設置要綱の一部を改正する要綱について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第9回	令和5年11月24日	16時00分	承認第11号	令和5年第8回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第13号	教育行政報告について
			議案第27号	令和5年度準要保護児童生徒の認定について
			議案第28号	令和5年度教育費補正予算（第6号）について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第10回	令和5年12月18日	16時00分	承認第12号	令和5年第9回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第14号	教育行政報告について
			報告第15号	北竜町いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について
			議案第29号	北竜町学校教育基本方針及び学校等複合施設基本計画検討委員会設置要綱の制定について
			議案第30号	令和5年度（令和4年度事業）教育委員会事務の点検・評価報告書について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第1回	令和6年1月26日	16時00分	承認第1号	令和5年第10回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第1号	教育行政報告について
			報告第2号	北竜町教育委員会活動評価委員会委員の辞任について
			報告第3号	北竜町スポーツ推進委員会委員の辞任について
			報告第4号	令和6年能登半島地震における災害支援について
			議案第1号	北竜町表彰条例に係わる表彰候補者の推薦について
			議案第2号	北竜町学校教育基本方針及び学校等複合施設基本計画検討委員会委員の委嘱について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第2回	令和6年2月26日	15時00分	承認第2号	令和6年第1回教育委員会定例会議事録の承認について
			承認第3号	第7次北竜町社会教育中期計画の答申について
			承認第4号	第3次北竜町子どもの読書活動推進計画の答申について
			報告第5号	教育行政報告について
			議案第3号	令和5年度教育費補正予算（第8号）について
			議案第4号	令和6年度教育費予算案（骨格）について
			そ の 他	各種行事の日程調整について

会議名	開催日	開催時間	議案番号	議 件 名
定例第3回	令和6年3月26日	15時30分	承認第5号	令和6年第2回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第6号	教育行政報告について
			議案第5号	北竜町教育委員会活動評価委員の委嘱について
			議案第6号	北竜町スポーツ推進委員の委嘱について
			議案第7号	令和6年度教育費補正予算（第1号）について
			議案第8号	令和6年度準要保護児童生徒の認定について
			議案第9号	北竜町学校給食費助成事業実施要綱の一部を改正する要綱について
			そ の 他	各種行事の日程調整について

令和6年度
(令和5年度事業対象)

生涯学習推進事業・社会教育事業・文化芸術事業
社会体育事業 自己点検・評価一覧表

北竜町教育委員会

令和5年度 北竜町社会教育事業実施内容

生涯学習推進事業

No. 1

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	生涯学習の促進	生涯学習が設置され、町づくりへの生涯学習推進について基本的な方向が示されています。町民に「いつでも・だれでも・どこでも・なんでも」学習のできる環境の整備を図ります。	通年	—	一般	—	—	1)各期間で行われている事業・行事の見直しを行う。 2)事業・行事の連携に向けての協議を行う。	引き続き事業等の見直しを行うとともに、各機関とも連携を深め、より良い事業を展開できるように取り組んでいく。	1 2 3 4 ⑤
2	生涯学習カレンダーの発行	生涯学習を実施している関係機関の活動内容を知らせ、住民に計画的に学習活動に参加する意識を喚起します。	年3回発行	—	一般	—	—	町、学校、社会教育団体、農業団体、商工団体等の行事を掲載する。 第1回 5月 1日発行 5月～8月分 第2回 9月 1日発行 9月～12月分 第3回 1月 6日発行 1月～3月分	ペーパーレスの関係で1月～3月分からはHPに掲載へ変更(希望者には紙で配付)したが、特に大きな間違い等もなく、広く町民に行事等を知らせることができた。	1 2 3 4 ⑤
3	生涯学習だよりの発行	毎月行われる生涯学習状況を、広く住民に知らせるとともに、参加を促します。	毎月1回発行	—	一般	—	—	毎月1回広報ほくりゅうに掲載し全戸に配布を依頼する。 ・実施した事業の様子 ・施設の閉館日のお知らせ ・図書館の新刊のお知らせなど	広報ほくりゅうに毎月記事を掲載し、教委が取り組んでいる事業を町民に知らせることができた。	1 2 3 4 ⑤
4	生涯学習振興事業助成	教育振興と住民の生涯学習を推進し、町民の心の健全な発達と明るく豊かな住民生活の形成に寄与します。	通年	—	一般	—	—	生涯学習振興基金の活用を行う。 ①文化振興・イベント開催に関する事業 ②スポーツ等に関する事業 ③伝統・文化保存に関する事業 ④人材育成に関する事業 ⑤産業振興に関する事業 ⑥独創的な町づくり事業 ⑦生涯学習振興に関する事業	今年度も積立を行った。	1 2 ③ 4 5
5	生涯学習人材バンク事業	地域社会の中で様々な技術を有する人を学習ボランティアとして活用し、学習を通じて人々の生きがい作りや町作り等の意識を育てます。	通年	—	一般	24名	—	「他薦」「自薦」により登録。 住民ニーズに応じた登録台帳の作成、公民館講座などで活用を図る。	今年度も新規登録なし。今後CSとも連携し、整備を行っていく必要がある。	1 ② 3 4 5

社会教育事業

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	子どもと高齢者のふれあい事業	核家族化が進み世代間交流が少なくなっている傾向の中、子どもたちに高齢者の持っている知識や技術を継承し、子どもたちに心豊かな経験の機会を設けます。	5月～ 2月 全8回	公民館 他	小学生 高齢者	延べ 225名	ふれあい 推進委員	①開講式・農園播種(5/27) 32名 ②フロアカーリング体験会(6/24) 25名 ③見学旅行 さくらんぼ狩り(7/8) 33名 ④工作教室(8/4) 26名 ⑤農園収穫祭(9/2) 22名 ⑥もちつき体験会(12/23) 30名 ⑦豆まき(1/27) 27名 ⑧雪遊び・閉講式(2/24) 30名	令和元年度以来、全8回を無事に実施することができた。参加者数は平均28名の参加となり、児童の約半数が参加してくれた。農園の管理については課題が残ったため、次年度は推進委員と連携をもっと深めていく。	1 2 3 4 ⑤
2	ひまわり大学	高齢期になってもなお、生き生きと豊かに暮らすことが、高齢化社会における生涯学習のねらいです。様々な講座や体験から、学生一人一人が自らの生きがいを創造し、社会参加を図れるようになることを目的としています。	5月～ 3月	公民館	高齢者	入学者 57名	町内外の 講師	①健康落語(5/18) 39名 講師:旭笑長屋 ナナカマド紅丸氏他2名 ②金滴酒造について(6/9) 43名 講師:金滴酒造株式会社 代表取締役社長 名取 重和 氏 ③見学旅行 上富良野方面(7/6) 22名 ④戦後の日本における洋服の歴史(8/17) 36名 講師:札幌大谷大学非常勤講師 城下 淑恵 氏 ⑤脳いきいき音楽教室(9/28) 39名 講師:増毛町地域おこし協力隊 及川 沙織 氏 ⑥ひまわりオリンピック(10/12) 33名 ⑦終活～今どきのお墓事情～(11/9) 38名 講師:有限会社マル安三上石材工業所 代表取締役 三上 貴康 氏 ⑧おなかの健康と乳酸菌とのかかわり(12/7) 40名 講師:株式会社ヤクルト北海道 小野寺 恵 氏 ⑨行った気になる海外の話 38名 講師:町内在住 セル 氏(ALT) 滝川市 菊池 英治 氏 ⑩フロアカーリング体験(2/8) 33名 進行:教育委員会職員 ⑪卒業式・謝恩会(3/7) 52名	今年度も予定していた全ての講座を実施することができた。近年、健康等に関する講座の方が出席率が高いことがわかった。次年度に向けて、また近隣の町とも連携を深め、情報収集を行い、より良い講座を実施できるように取り組んでいく。	1 2 3 4 ⑤
3	北竜未来ユース	既存の社会教育・体育事業等へ中学生以上の参加を図り、地域や異世代との繋がりが、参加者の自己肯定感を高めるとともに、地域に関心を持ち、町を好きになるきっかけ作りの場を提供する。	通年	町内 (基本)	中学生 ～ 大学生	中学生 3名 高校生 2名	教育委員会	・定期的なミーティングや研修会 ・既存の事業へボランティアとして参加 ・新規事業の企画・運営 今年度活動 6月20日 1回目研修会 6月24日 ふれあい事業3名参加 7月 8日 ふれあい事業1名参加 8月 4日 ふれあい事業3名参加 12月23日 ふれあい事業3名参加 12月25日～26日 シニアリーダー研修会1名参加 1月27日 ふれあい事業2名参加 2月17日 ふれあい事業1名参加 3月27日～28日 ステップアップ研修会1名参加	定期的なミーティングは実施できなかったが、事業も軌道に乗り始め、未来ユースの認知度も上がってきた(次年度入りしたいという6年生の声が数名あった)現在は、主にふれあい事業のボランティアとなっているが、次年度は他の事業にも来て貰えるよう呼びかけを行っていく。また、シニアリーダー研修会等の事業にも参加してもらえるよう呼びかけていく。	1 2 3 ④ 5

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
4	北空知シニアリーダー研修会 北空知ステップアップ研修会	北空知に住む小・中・高校生が集まり交流を図るとともに、将来の青年リーダー的存在として必要な技術の習得や意識の改革を行います。	12月25・26日 3月27・28日	ネイパル 深川	中・高校生 小・中学生	12月中学生5名 3月中学生2名 児童5名	北空知社会教育関係職員	北空知に住む、中・高校生が集まり交流を図るとともに、様々なプログラムを通して、将来の青年リーダー的存在として必要な技術の習得や集団行動におけるルール等を学ぶことにより実践力を高める。	他市町の参加者が減っている中、北竜の中学生・小学生は積極的に参加してくれている。引き続き、このような青少年の交流事業に参加してもらえるよう普段から子どもたちとの関係性を深めていく。	1 2 3 4 ⑤
5	20歳を祝う会	成人になったことを自覚する機会にし、新成人を祝福し激励します。 ※旧成人式	1月6日	公民館	新成人対象者	14名	—	・式典 ・交流会	令和元年度以来の交流会も実施することができた。 北竜太鼓以外のアトラクションも次年度は検討していきたい。	1 2 3 4 ⑤
6	子ども会育成連絡協議会	町内会の子ども会と連携し、様々な体験活動を通して、青少年の心身共に健全な育成を図ります。	通年	町内	小中学生	①225名 ②約50名 ③21名 ④7名	ふれあい推進委員 商工会青年部 教委職員等	①各ふれあい事業 延べ225名 ②わんぱく夏祭り(7月8日) 児童39名、生徒2名、園児10名程 ③子ども会リーダーキャンプ(8月8～9日) 児童21名 ④リーダー育成講習会(3月) 生徒5名・児童2名	各機関とも連携し、事業を予定通り実施することができた。 リーダーキャンプは令和元年度以来の宿泊する事業が実施でき、参加した子ども達は次年度もまた参加したいとの声が多かった。	1 2 3 4 ⑤
7	家庭教育学級	家庭と学校の相互理解と連携を図り、子どもに対する教育的役割を認識し、機能を十分に発揮できるよう学習機会を提供して家庭教育の振興を図ります。	11月18日	公民館	PTA会員 一般町民	34名	五十嵐いおり氏 (オフィスパレット代表)	北竜町PTA連合会研究大会 「見つめよう子どもの心 育てよう豊かな心～子どもの心を育むセーフティネットの広がる町をめざして～」	「子育ては自分育て」と題し、子育てに関する講演をしてもらい、多くの保護者の方に参加してもらうことができた。	1 2 3 4 ⑤
8	女性連絡協議会	各町内会代表により構成され、町内の女性の活動を促進します。	通年	公民館 他	町内女性	延べ93名	—	・町民文化祭チャリティーバザー(11/3 10名) ・全町女性レクリエーション大会(11/26 83名)	4年ぶりの文化祭バザーだったが、無事に実施することができた。 女性レクも多くの方に参加をしてもらうことができ、チーム毎に多くの交流が見ることが出来た。	1 2 3 4 ⑤
9	書画教室	描いて楽しく、貰って嬉しい絵手紙やオブジェ作りを気軽に体験してもらい、参加者に一つの趣味作りとして学んでもらいます。	10月17日 10月19日 10月24日	公民館	成人	延べ25名	町内の指導者 瀬戸 正氏	・絵手紙(ミニ色紙に風景等の絵を描き、文字を書き入れたもの) ・オブジェ(石ころや木板に絵を描き入れたもの)など	1回目は色紙や石に絵を描き、2回目は絵はがきを作成、3回目は雅印作りを行った。過去一番多くの方に参加をしてもらうことができ、次年度もまた実施して欲しいとの声が多かった。	1 2 3 4 ⑤
10	親子体験教室	親子で様々な活動を行うことで、親子の絆を深めるとともに、家族間でも交流を促進し、地域の繋がりを形成します。	①8月5日 ②10月29日	公民館 他	児童とその保護者	親子 ①23名 ②22名	教育委員会他	①レジンでかき氷のキーホルダー作り 講師:コガタ食堂 氏 12家族 ②ハロウィンランタン作り 講師:職員 11家族	どちらの事業も、低学年を中心に参加率が高く、次年度もまたやって欲しいとの声が多かった。 親子で体験活動ができる取組は少ないので、継続的に実施していきたい。	1 2 3 4 ⑤
11	押し花教室	誰でも気軽に作ることができる押し花作りを体験してもらい、参加者に一つの趣味作りとして学んでもらいます。	2月20日 2月27日	公民館	成人	10名	町内の指導者 久米谷 恵子氏	押し花を用いたしおりなどの作品を作成する。	講師の都合により、3回予定が2回に変更になったが、申込開始からすぐに定員が埋まってしまう人気事業なので、引き続き実施できるように取り組んでいく。	1 2 3 4 ⑤
12	料理教室	家庭で役立つ健康作りの知識や料理のレシピ等を学ぶと共に、仲間作りを行うきっかけをつくり、社会参加を促進します。	①3月2日 ②3月22日	公民館	女性	①14名 ②4名	①地域おこし協力隊 西島氏・中野氏 ②町栄養士 杉山氏	料理教室 ・北竜町の特産品を用いたレシピ ・健康作りに役立つレシピなど	①は昨年度より継続して親子向けの料理教室でアイシングクッキー作り、②は住民課との連携事業で大豆ミート等を使った地産地消レシピを実施。両方好評であった。	1 2 3 4 ⑤

社会教育事業

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
13	生きがいセミナー	高齢者の生きがいが増えるよう、町民のニーズにあった技術や知識を学ぶ機会を提供します。	3月8日 3月15日 3月29日	公民館	高齢者	延べ25名	菅原 瑞枝 氏	カラオケ教室 ・声出しや音取りからスタート ・入退場の仕方や歌い方の指導など	講師変更に伴い、実施方法を少し変えたが、各サークルの協力もあり、無事に実施することができた。最後には一人ずつ課題曲を実際に歌い、発表会も行うことができた。	1 2 3 4 ⑤
14	プラモデル教室	青年層をターゲットに、昔懐かしいプラモデル作りを通して、新しい趣味作りや地域の繋がり作りを促進します。	2月25日 3月10日	公民館	全町民	延べ18名	佐藤 健司 氏	プラモデル教室 ・初心者向けの指導(初心者向けキットを用いて) ・中級者向けの指導(エアブラシ等を使った塗装など)	1回目は初心者向け、2回目は中級者向けで実施した。初心者向けは子どもにも人気で親子で参加してくれたところもあった。中級者は午前・午後でやることを分け、作りたいものを製作したり、塗装体験等を行うことができた。	1 2 3 4 ⑤
15	子ども見守りサポーター	地域の住民や団体の参画で子どもたちを犯罪や交通事故から守り、健やかな成長に寄与することを目的としています。	通年	町内一円	成人	登録者65名	登録者	・登校時の見守り ・防犯パトロール ・交通安全啓発など	登録者には、例年通り輪番表を作成し登校時の見守りと防犯パトロールを実施してもらった。CSと連携してこちらもサポーターの整備が必要。	1 2 ③ 4 5
16	学校開放事業	町民の学習活動及びコミュニティづくりの場として開放し、町民の利用を促進します。	通年	小学校 中学校	一般	—	—	実施なし	実施なし	① 2 3 4 5
17	各種指導者育成講座	北海道教育庁等が主催する各種指導者育成事業を周知し、参加希望者に助成を行うことによって、生涯学習振興のために必要な指導者を育成し、人材活用を図ります。	通年	公民館 他	一般	—	—	随時指導者育成事業の募集要項を関係機関に周知する。	実施なし	① 2 3 4 5
18	パソコンヘルプデスク	パソコンの知識と技術を身近なものにするため、日頃の疑問に答える場を提供します。	通年	公民館 他	一般	延べ10名	—	①パソコンの基本操作 ②文字入力 ③ワープロソフトの基本操作 ④表計算ソフトの基本操作 ⑤インターネットの使用方法 など ※パソコンだけでなく、スマートフォンの操作についても対応。	スマートフォンの使い方を高齢者が訪ねてくるのが何度かあったため、職員で対応した。DXの絡みもあるので、企画とも連携していきたい。	1 2 3 ④ 5

文化芸術

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	町民映画会 (親子映画鑑賞会)	一つの作品を多くの人が同時に鑑賞し感動を共有することで、町民の文化振興を図ります。	11月2日	改善センター	一般	約50名	—	・町民文化祭の初日に合わせ、親子で楽しめる映画鑑賞を行う。 上映作品は「バッドガイズ」 ・冒頭にはノースドラゴンによるヒーローショーを実施予定だったが、ヒーローの都合が合わなかったため、イモチキングによる尻相撲大会を実施してもらった。	今回上映した映画は人気の映画だったので、内容も面白く、見に来た子ども達は集中して最後まで見ていた。ノースドラゴンは、ヒーローの予定が合わず、急遽イモチキングに尻相撲大会を実施してもらったが、多くの子ども達がイモチキングと尻相撲をして楽しい時間を過ごした。	1 2 3 4 ⑤
2	町民文化祭	日頃の文化サークルの活動の発表の場として、また町民の文化に対する意識の高揚を図る場として実行委員会をサポートします。	11月2日 11月3日	公民館・改善センター	一般	約150名	—	・芸能発表 ・作品展示 ・出店販売 ・チャリティーバザーの実施	バザーも今回から復活し、久しぶりのフルでの開催だったが、特に大きな事故もなく終えることができた。ただ、会場に来ているのは高齢者が中心で若い世代が会場に足を運んでもらえるような取組も必要だと感じた。	1 2 3 4 ⑤
3	文化・芸術鑑賞の旅	芸術・文化の知識を高めるために優れた芸術に接する機会を設け、町民の自主的文化活動の促進を図ります。	#####	札幌市	一般	6名	—	道内の文化・芸術に関する施設等 今年度は、劇団四季リトルマーメイドのアンコール公演を鑑賞。	今年度も児童・生徒との事業とコラボ開催を行った。 鑑賞後の反応も良く、大人も満足してもらえるような事業を今回は展開できて良かった。	1 2 3 4 ⑤
4	児童・生徒 文化・芸術鑑賞の旅	芸術文化に触れる機会の少ない児童・生徒に対し、優れた芸術に接する機会を提供することを図ります。	10月28日	札幌市	小学4年生 ~中学生	16名	—	道内の文化・芸術に関する施設等 今年度は、劇団四季リトルマーメイドのアンコール公演を鑑賞。	今年度も一般との事業とコラボ開催を行った。 迫力のある演出や歌声に参加した児童・生徒は驚いた様子で、とても印象に残っている様子だった。	1 2 3 4 ⑤
5	文化公演会 (北海道巡回小劇場)	舞台芸術を鑑賞する機会の少ない町民に公民館等の身近な会場において、芸術鑑賞の機会を提供し、豊かな感性や個性を育みます。	9月12日	公民館or改善センター	小学生 中学生 一般	園児21名 児童62名 生徒34名 引率20名 一般10名	—	劇団ボブラによるミュージカル「海底2万マイル」 (2.5次元舞台、プロジェクションマッピングを用いた舞台)	今回はプロジェクターで投影する映像と動きを合わせた2.5次元ミュージカルを公演してもらった。2連続でミュージカルが続いたので、2年後は違う演目にしたところ(学校側と調整)	1 2 3 ④ 5

令和5年度

北竜町社会教育事業実施内容

No. 6

図書館事業

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	読み聞かせ教室	幼少期から図書に関心を持ってもらうため、未就学児を対象とした絵本等の読み聞かせ活動が必要となります。また、親子のふれあい、子どもの情緒教育など家庭教育の観点からも絵本を通して母親を対象に技術を習得してもらいます。	2月10日	図書館	未就学児 保護者	園児4名 保護者4名	町内の指導者 子育て支援センター 大友優子氏 山田玲子氏	家庭教育を兼ねて幼児に合わせた絵本の選び方、読み聞かせ方法等を講習する。 ・絵本の紹介 ・読み聞かせ ・ペープサート ・手遊び等	0歳児から3歳児までの絵本を中心とした絵本の紹介や各家庭でよく読み聞かせをしている絵本をお互い紹介し、交流も見られた。最後にはペープサートも行い、大人も子どもと一緒に楽しんでいた。	1 2 3 4 ⑤
2	読み聞かせ事業	工作や読み聞かせを通して、子どもたちに図書館への関心を持ってもらい、またの利用に繋がります。	夏休み 冬休み 各1回	図書館	小学生中心	—	司書・ ボランティア	夏休み、冬休み期間中に各1回程度工作と読み聞かせを行う。 夏休みは実施できず。 冬休みも実施できず。	企画・準備ができず実施できなかった。	① 2 3 4 5
3	リサイクル事業	蔵書点検に伴い休館となる期間も、町民に本に関する楽しみを提供します。	6月24日 ～ 7月3日	公民館 玄関ホール(図書館入口前)	全町民	約50名	-	寄贈本、保存期間を過ぎた雑誌などを町民に供する。	昨年度同様、展示の仕方を工夫したり、持ち帰れる本の冊数を制限することで、多くの町民に本を持って帰って貰うことができた。	1 2 3 4 ⑤
4	図書館フェスティバル	利用者増に繋げ、足を運んでもらうきっかけを作るため、図書館フェスティバルを開催し、町民に身近な図書館となることを目指します。また、読書週間のため、多くの人が本を手にする機会となるよう、展示や読み聞かせも実施。町民文化祭の日に工作を行い、図書館に馴染みがない人にも気軽に図書館を訪れてもらい、次の利用を目指します。	10月下旬 ～ 11月下旬	図書館	全町民	—	司書・ ボランティア	期間中に工作、読み聞かせ等実施予定。 他に2週間通して参加できるイベントや展示を行う。 ※図書館フェスティバルは、文化祭に合わせて開催。 両方とも実施できず。	企画・準備ができず実施できなかった。	① 2 3 4 5
5	絵本作家講演会	絵本作家本人による制作裏話や、絵本の読み聞かせを通して、子どもと本の出会いを提供し、読書の楽しさ・面白さを伝えます。	12月3日	図書館 他	全町民	親子 20名	広瀬克也氏	絵本作家による講演、ワークショップなどを行い、講演後は絵本の販売・サイン会を実施。	3名のボランティアと協力し、準備を行い実施することができた。久しぶりの対面開催ということもあり、楽しみにしていた親子も多く、子どもだけでなく、参加した大人にも楽しんでもらうことができた。	1 2 3 4 ⑤

評価ランク 5～充分達成した 4～概ね達成した 3～やや達成した 2～達成に向けて努力している 1～取り組みなし

令和5年度 北竜町社会体育事業実施内容

社会体育

No. 1

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	キッズエアロビクス	近年、子ども達の運動能力の低下等が問題視されている。それらを改善するために幼児期よりしっかりと運動をする事により、運動神経の基礎をつくっていくことを助長する。また、集団で行うことにより協調性などの精神面の成長も助長する。	4/21 6/23 8/4 10/6 全4回	やわら 保育園	保育園児 幼児と その親	9名 5名 13名 12名	パーソナルトレーナー 旭川市 山田 道代氏 子育て支援 センター職員	やわら保育園において園児と未入園児の参加親子を対象とした運動教室。年齢層に応じて体に無理の無い運動を積極的に実施 キッズエアロビクス①②③④	今年度についても旭川市在住の山田道代氏に講師を依頼した。 「基礎的な運動「投げる」「走る」「飛ぶ」等が事業の中につめこまれており、各クラスの能力に合わせて、子供達からも好評の中、実施する事が出来た。	1 2 3 ④ 5
2	町長杯町民 パークゴルフ大会 教育長杯争奪町民 パークゴルフ大会 議会議長杯町民 パークゴルフ大会	誰もが気軽に、一人でもできるパークゴルフを通して、健康で明るく豊かな生活を目指すとともにスポーツに対する関心を高め、町民の体力の増進と意欲の向上を図る。	5/28 6/18 6/30	ひまわり パーク ゴルフ場	町民	45名 37名 32名	PG協会 教育委員会	各大会とも4コース36ホールによる、ストロークプレー、男女別個人戦にて実施	途中雨が降った大会もあったが、3大会とも大盛況の中、大会を終える事が出来た。	1 2 3 ④ 5
3	陸上教室	スポーツインストラクターを招き、運動会・陸上記録会前に走り方を学び、スポーツに対する関心を高め、意欲の向上を図る。	5/21	真竜小学 校グラウ ンド	児童・生徒	27名	深川市 エフバシオ 北山 奈々氏	陸上教室 ・走りのフォームや足が速くなるコツを教わる。 ・身体のケアについて教わり、怪我防止の知識を学ぶ。	小学校のグラウンドで実施する予定だったが、雨天の為、改善センター体育館にて実施した。一つ一つの練習メニューがわかりやすく、どれも速く走る基礎として大事な要素が詰まっているため、小学生低学年から中学生までの学年に応じて有意義な時間と思われる。	1 2 3 4 ⑤
4	夢の教室	「心のプロジェクト」を活用し、トップアスリートが夢を持つことの素晴らしさや、それに向かって努力することの大切さ。失敗や挫折に負けない心の強さを講師自身の経験談を元にそれらの大切さを学ぶ。	11/15	真竜小学 校	児童・生徒	小学 5・6年 生	太田 吉彰氏 (元プロサッカー選手)	・対面にて実施 夢先生の講話	小学5・6年生を対象に、体育館で夢先生と身体を動かした後に、教室にて夢先生に講話をして頂いた。夢先生の実際の体験してきた中で、夢を持つ大事さ、挫折しそうな時も掛けずに頑張る大切さは生徒達の心に響いたと思われる。	1 2 3 4 ⑤
5	フットパス	金比羅公園の芝桜を楽しみに春の風景を堪能しながら、散策路をウォーキングすることで、日頃の運動不足の解消と健康意識の高揚、健康づくりの習慣化を図る。 秋の紅葉を堪能しながら、河川敷をウォーキングすることで、日頃の運動不足の解消と健康意識の高揚、健康づくりの習慣化を図る。	5/13 9月中旬	町内か周 辺の市町 村	小・中学生 ・成人	32名 —	教育委員会	公民館から金比羅公園を往復するコース(約7km) 町外のコース	町民が集まりやすい公民館からのスタートとし、年齢層も子供から高齢者まで幅広く、多くの参加者が集まった。 雨天により中止。	1 2 ③ 4 5
6	キッズアクア	水中ゲームなど水と親しむことにより、幼児期より水運動の関心を高め、水の楽しさや水難事故の防止を図り、かつ、心の発育や健康、体力づくりの推進を図る。	8/17	海洋 センター プール	保育園児 年長・年中 対象	13名	B&G7ア クア インストラクター 藤信清彦氏	やわら保育園園児向けにアクアリズム運動をもちいてレクリエーションを実施	初めての水泳体験として、水への恐怖心を克服する所から始め、泳ぎの基礎であるパタ足の練習を中心に行い、小学生に上がるまでの基礎技術向上に繋がった。	1 2 3 4 ⑤

令和5年度 北竜町社会体育事業実施内容

No. 2

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
7	B&G海洋センター事業 「わんぱく夏まつり、水辺の安全教室」	川の危険性を理解し、危険だから近づかないのではなく、子ども達自身が「自分の命は自分で守る」という意識を身につけ、安全で楽しく川辺で自然体験活動を行う。	7/8	B&G海洋センター	小学生他	約50名	B&Gアーク7 インストラクター 藤信清彦氏	商工青年部が実施している「川まつり」の中で実施する。水辺の安全プログラム(ライフジャケット浮遊体験、スローバック救助実演等)	わんぱく夏祭りのレクの一部として水辺の安全教室を行った。砂川市海洋センターよりライフジャケット等を借り、プールで浮遊体験を行った。	1 2 3 4 (5)
8	初心者水泳体験	初心者水泳教室では、水に慣れ親しんで水への恐怖心を無くし、中級者水泳教室では、水泳技術の向上を図ると共に、体力増進・水難事故の危険回避能力を図る。	8/16	海洋センタープール	小学生低学年	9名	B&Gアーク7 インストラクター 藤信清彦氏	対象が低学年であるため、初歩的な実技指導を実施(小学1・2年生)	泳ぎの基礎である息継ぎやバタ足の練習を中心に行った。中級者になるまでのステップとして、基礎技術の向上に繋がったと思われる。	1 2 3 4 (5)
	小学生高学年				11名	対象が高学年であるため、技術の向上を実技指導。(小学3年生以上)		泳ぎに必要な形を初心者体験より、更に細かく先生より教わった。基礎が出来ている子にも更に難易度の高い練習メニューを教えて貰い、全員の技術向上に繋がったと思われる。		
9	北竜町教育長旗争奪 北空知少年野球大会	少年が野球を通して技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な少年の育成を図る。	7/29	町営野球場	小学生	4チーム	深川地区軟式 野球連盟審判 団	北空知各野球スポーツ少年団チームを中心に招いて大会を実施。トーナメント方式による対戦。	全4チーム参加での開催となった。大会当日は天候にも恵まれ、白熱した試合が繰り広げられた。	1 2 3 4 (5)
10	水中レクリエーション大会	水中ゲームなど水と親しむことにより、海洋性スポーツへの関心を高めるとともに、健康づくりや体力づくりの推進を図る。	8/18	海洋センタープール	小学生	30名	B&Gアーク7 インストラクター 藤信清彦氏	数種類のレクリエーション競技を実施。	B&G海洋センター周辺のごみ拾い後に全学年が参加出来るレクリエーションを実施。開催中にライフジャケットの着用体験を行った。	1 2 3 4 (5)
11	B&G海洋レクリエーション体験	子ども達が普段体験する機会のない「海洋性レクリエーション」体験を通して、水遊びの楽しさを感じさせ、水難事故の防止を図り、子どもが成長する過程で必要な体験の一助とし、また、集団活動での決まりや礼節、道徳心を学ぶことにより、社会性を習得させ、豊かな人間性の育成を図る。	9/3	B&G海洋センター	小学生高学年	12名	海洋センター職員 教委職員	○ カヌー・ローボート教室 ○ 礼節や集団行動の指導 ○ 洗浄・格納 ○ 海洋性レクリエーション体験	滝川市B&G海洋センターにてリーダーキャンプのプログラムの一つとして実施を予定していたが、天候不順により、別日にカヌーとローボートの操縦体験を行った。体験中は子供達は真剣に指導員の話聞き、上達していた。	1 2 3 4 (5)
12	各少年団交流試合	深川管外の普段対戦する機会のない野球・バレーボール少年団チームとの親睦と交流により、心身の育成と社会性や豊かな人間形成の育成、技術向上に努める。	—	—	野球少年団		少年団指導者外	北空知管外の少年団チームに訪問し、交流試合を実施。	バレー少年団に助成を行った。野球少年団は実施なし。	1 2 3 4 (5)
			6/16~ 17	帯広市	バレー少年団					

令和5年度 北竜町社会体育事業実施内容

No. 3

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
14	親子パークゴルフ教室	コミュニティスポーツとして広く親しまれてきたパークゴルフを子ども達にも広め、自主性、社会性を培うとともに、パークゴルフを通してスポーツの振興を図る。	10/1	ひまわりパークゴルフ場	小・中学生とその親	4組	空知教育局 教委職員	現地集合→開講式→PG場でのマナーについて→基本技能習得(スイング等)→親子PG大会。 参加者全員に昼食のサービス。	空知教育局齊藤氏が講師として来て頂き、「子供の生活習慣」について講話を頂いた。講話終了後ニュースポーツである、ラダーゲッターとパークゴルフのミニゲームを行った後に親子パークゴルフを実施し、昼食のカレーの提供を行った。	1 2 3 ④ 5
	「体験の風をおこそう」パークゴルフ・ニアピン・ストラックアウト大会	子どもたちの健やかな成長に体験がいかに重要であるかを広く家庭や社会に伝え、体験活動の推進を図る。						「体験の風をおこそう」運動推進協議会の協力を頂き、親子PG教室終了後に3大会を開催し、各大会ごとに賞状・メダルの授与を実施。		
15	レッツゴーパークゴルフ大会	誰でも気軽にできるパークゴルフを通して、スポーツに対する関心を高め、体力の維持増進とともに健康で明るく豊かな家庭生活の一層の向上を図る。	10/1	ひまわりパークゴルフ場	成人	26名	教委職員	3コース27ホールによるストロークプレー、男女別個人戦にて実施。 参加者全員に昼食のサービスを実施。	親子パークゴルフと同時開催のため3コースでの開催とした。例年用意している昼食が新型コロナウイルスの観点で中止となった為、閉会式終了後随時解散とした。	1 2 3 ④ 5
16	ひまわりオリンピック(旧老人オリンピック)	高齢者になると集団で協力して活動する機会が少なくなりがちである。そこで、仲間と目的を持ち気軽に楽しく運動できることがこれからの生活にますます重要になってくる。仲間とともに楽しみ、交流を図る。	10/12	改善センター	高齢者	53名	スポーツ推進委員	7種目のレクリエーションと大抽選会の実施。ジュースのサービス	町内会を3チームに分けて、実施した。大会ではケガ人も出ずに笑顔溢れるなか、仲間と親睦を深めている様子であった。競技終了後、大抽選会を行った。	1 2 3 4 ⑤
17	小学生バレーボール大会	北空知管内の小学生バレーボールチームの親睦と交流を図り、強健な心身の育成と技術の向上に努める。	11/25	改善センター	小学生	7チーム	各チーム指導者外	深川地区各バレーボールスポーツ少年団チームを招いて大会を実施。	改善センターにて全7チームを招いて開催した。子供達にとって対外チームとの交流はとても良い経験になったと思われる。	1 2 3 4 ⑤
18	全町女性ミニバレーボール大会	気軽にできるミニバレーボールを通じて、中高齢者が明るく豊かな生活が送れるよう、体力の維持増進とスポーツへの関心を高める。	2/18	改善センター	女性	6チーム 45名	スポーツ推進委員	参加チームを2クラス(A・B)に分けて優勝を争う	当日は6チームの参加があり、昨年度の結果を踏まえて、今回は2リーグトーナメント戦にて行った。最初のサーブをアタックで返したり、参加年齢層が18~70代とかなり離れている事からパワーバランスの都合上、改善が必要と思われる。	1 2 3 ④ 5
19	全町女性レクリエーション大会	町内女性が一堂に会し、相互の親睦と融和を図りレクリエーションで楽しみながら交流を図る。	11/26	改善センター	女性	83名	スポーツ推進委員	6種目のレクリエーションと大抽選会の実施	町内会を4チームに分けて、実施した。当日は100人近くの申込を頂き、年齢の壁を越して参加者同士の親睦が図られたと思われる。	1 2 3 4 ⑤
20	初心者スキー教室	児童数の減少と余暇時間の過ごし方の変化に伴いスキーをする機会が減ってきたように思われる。幼い頃からスキーに親しみ、興味を抱かせることによって、冬の健康づくりとスキー人口の底辺拡大を図る。	1/7 (午前・午後) 1/8 (午前) 全3回	町営スキー場	保育園年長組・小学1年生	12名	スキー指導員 委員会指導員	○ スキーの履き方、脱ぎ方 ○ スキーを履いての歩行 ○ リフトの乗り方 ○ 滑り方	2日間の日程で開催し、初めは滑るのもままならない子供達が殆どであったが、事業が終わる頃には、一人でリフトに乗れるレベルまで上達した。	1 2 3 4 ⑤
21	スポーツ教室	誰もが気軽にできるスポーツとして提供することにより、健康な身体づくりを助長し、あわせて冬場の運動不足解消と体力向上を図る。	3月	改善センター	成人	13名	スポーツ推進委員	誰でも気軽に参加できるような種目の軽運動を実施。	今年度は観光センターにてモルック教室を行った。	1 2 3 ④ 5

令和5年度 北竜町社会体育事業実施内容

No. 4

No.	事業名	趣旨(令和5年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
22	ヨガ教室	適度な運動を継続して行うことにより冬期間の運動不足解消・体型維持・血行促進といった効果を生み、参加者が健康的で生き生きとした生活が維持できるよう助長する。	2月28日 3月6日 3月13日	公民館	成人	7名	大矢江利子氏	ヨガ教室	3日間開催し、ヨガを経験されていない新規の女性の方にも多く参加を頂いた。引き続き、参加者にヨガを通じて健康づくりの知識や仲間づくりを広げ、社会参加を促していきたい	1 2 3 4 ⑤
23	フロアカーリング大会	子どもから高齢者までを対象に「誰もが楽しめるスポーツ」として、幅広い年齢層のスポーツライフを豊かにする担い手として普及させていく。	2月	改善センター	町民	13名	教育委員会	フロアカーリング	2人1組のチームを作り総当たり戦を行った。昨年度から冬に開催している大会だが参加者から夏にも開催して欲しいという声もあつたので次年度以降検討したい。	1 2 3 4 ⑤
24	スポーツ少年団本部	少年がスポーツを通じて技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な青少年の育成を図る。	通年		各少年団		教育委員会	少年団活動への支援。 (野球・バレーボール少年団)	例年同様、人数に応じて野球部とバレーボール部に助成金の支援を行った。	1 2 3 ④ 5
25	爽やかラジオ体操会	ラジオ体操は何の気兼ねも無く「誰でもできる体操」として一般的に広く知られていることから、早朝のラジオ体操を生活習慣のひとつとして活用してもらい健康増進を図る。	6月12日 ～ 9月8日	公民館前	全町民	延べ2962名	ラジオ体操愛好者	ラジオ体操会への支援。	子ども達の参加増進を狙いとして、一般とは別に、小学生を対象にスタンプに応じて、お菓子の配布を実施した結果、例年より多く参加して頂いた。一般の方には連年同様に最終日にお茶とティッシュ箱、郵送で行政ポイントの配布を行った。	1 2 3 ④ 5
26	体力・運動能力調査	北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課より、国民の体力・運動能力		改善センター	対象年齢者		教育委員会	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び	実施できなかった。	① 2 3 4 5
27	トレーニングルーム促進事業	改善センタートレーニングルームにある機材を効率的に使用して貰うため、専門のトレーナーに指導や、自己の筋力等の数値化を実施し、参加者の健康に対する意識を高め、更なる利用者の増加を図る	5/30 8/29 12/21 2月中旬	改善センター	町民(高校生以上)	延べ34名	ダググスポーツ真杉智数氏	トレーニング機器の使い方講習会 個人の目標や能力に合わせたメニュー表の作成	事業を始めて2年が経って、トレーニングルームの利用者も増え、新規の参加者もまだ多い状況が続いている。次年度以降も新規・継続で利用される方両方を対象に事業を行って行きたい。	1 2 3 4 ⑤

評価ランク 5～ 充分達成した 4～ 概ね達成した 3～ やや達成した 2～ 達成に向けて努力している 1～ 取り組みなし

外部評価（活動評価委員）意見総評

1. 学校教育の充実

1) 学校教育の充実

- ・令和11年度開校予定の「義務教育学校」へのスムーズな移行のため、学校間の連携をさらに図り、北竜町ならではの特色がある一貫した教育を今後とも推進するよう努めると共に、授業改善や児童生徒個々の学力向上、コミュニケーション能力の向上に努めていただきたい。

- ・中学3年生による沖縄県への修学旅行は本町ならではの取り組みであり、特に「ひまわりライス」の販売体験は、地場農産物への再認識とふるさと北竜町に誇りを持つ重要な機会であることから、引き続き実施するよう努めていただきたい。

- ・引き続き、児童生徒の心の問題に関するケアや、いじめ問題に関する取組を積極的に進めていただきたい。

- ・中学校の部活動は、既に他校と広域的な活動が進められているが、スムーズな部活動の地域移行に向け、北空知の教育委員会と更に協議検討を進めていただきたい。

- ・GIGAスクール構想のもと、ICT機器やデジタル教材の有効活用を積極的に進めていただきたい。

- ・給食費全額助成、修学旅行費助成など、引き続き保護者の負担軽減となる各種支援事業を継続していただきたい。

- ・海外短期語学留学は、本町ならではの取り組みであり、国際社会に触れる重要な機会であることから、引き続き実施するよう努めていただきたい。

2) 教職員の資質の向上

- ・教育振興会等の研修等を通じて、教職員の更なる資質向上に努めていただくと共に、道教委等が主催する各研修会等においても各校と連携して積極的に参加できる様な体制づくりの構築に努めていただきたい。

- ・教職員に対する服務規律の徹底及び体調管理等を含め、働く環境にも配慮した指導を進めていただきたい。

3) 学校施設・設備の整備充実

- ・学校活動が円滑に進められるよう、総合計画や公共施設再配置計画等に基づいた施設整備等を進めていただきたい。

4) 開かれた信頼される学校づくり

- ・コミュニティ・スクールの一環として引き続き、そば打ち体験など本町の特色や資源を有効に活用した学習活動の推進に努めていただきたい。

5) 総合的な子どもの安全対策の推進

- ・スクールバスの運用について、町部局と連携し今後の検討を進めると共に、児童生徒の通学路の安全確保に努めていただきたい。

2. 生涯学習の充実

- 1) 社会教育施設の整備充実・有効活用
 - ・小中学校同様、公共施設再配置計画に基づき計画的な施設整備の推進に努めていただきたい。
- 2) 生涯学習指導者の確保
 - ・各種事業に協力いただける人材の育成確保に努めていただきたい。
- 3) 生涯学習情報の提供 及び 4) 生涯の各期に応じた社会教育事業の推進
 - ・引き続き、広く生涯学習情報の発信に努め、時代に即した事業の導入や、世代間交流事業となる「子どもと高齢者のふれあい事業」を継続していただきたい。
- 5) 読書活動の促進
 - ・幼少年期からの読書の習慣づけに向けた取り組みに努めていただきたい。

3. 青少年の健全育成

- 1) 青少年健全育成体制の充実 及び 2) 非行防止活動等の促進 及び 3) 家庭・地域の教育力向上
 - ・家庭、地域、学校、行政、警察等と協力し青少年健全育成活動を進めると共に、子ども達と一緒に育てるといった機運の醸成に努めていただきたい。
- 4) 青少年の体験・交流活動等の促進
 - ・新たな体験機会の構築など、今後も多くの青少年が参加できる事業推進を期待します。

4. 芸術・文化の振興

- 1) 文化芸術団体、指導者の育成
 - ・既存団体の継続活動支援と新規サークル団体の育成に努めていただきたい。
- 2) 文化芸術にふれる機会の充実 及び 3) 文化財の保存・活用
 - ・引き続き、優れた文化芸術作品にふれる機会の提供と、本町の重要的文化財となる真竜獅子舞（保存会）への継続支援に努めていただきたい。

5. スポーツの振興

- 1) スポーツ施設の整備充実
 - ・各スポーツ施設個別計画を基に、計画的な管理運営と施設整備に努めていただきたい。
- 2) スポーツ団体、指導者の育成
 - ・体育協会等の団体支援の継続と連携した指導者の育成に努めていただきたい。
 - ・広域的なスポーツ少年団活動が行われるようになってきているが、今後においても積極的なスポーツ少年団活動が展開できるよう、他市町との連携に努めていただきたい。
- 3) 多様なスポーツ活動の普及促進
 - ・幅広い年代が参加できる様なスポーツやレクリエーション事業の企画に引き続き努めていただきたい。